

北中学校だより

楓

(かえで)

令和7年7月9日(水)

第20号 東金市立北中学校

〒283-0803 東金市日吉台 1-20

TEL 0475-50-2288

発行者：校長 久我 和廣

学校教育目標

創 【未来を拓く】

～輝く瞳、笑顔とあいさつ、光る汗～
めざす生徒像

「考え、行動し、夢をもって成長する」生徒

- (1) 学び合い、高め合う生徒⇒輝く瞳・・・(知)
- (2) 認め合う、心豊かな生徒⇒笑顔とあいさつ・・・(徳)
- (3) 心身共に健康な、たくましい生徒⇒光る汗・・・(体)

校訓 自分らしさを光らせて

めざす学校像

- (1) 学力向上に努める学校
- (2) あいさつと歌声が響く学校
- (3) 安全で安心してすごせる学校
- (4) 地域とともに歩み、信頼される学校



望む方向に自分を変えていける

自律に向けて

15歳の時の自分と10年後の自分は別人になっています。この言葉に似た言葉を、今年の1学期始業式にて、2、3年生に向けて伝えましたね。

中学3年生の時の私は、人前に出て話ができないタイプでした。話せても小さな声で。そんな私は、生徒会総務や部活動の部長を担当していました。

それはどうしてか？簡単です。顧問が無理やりすすめたからです。

では、なぜ顧問が無理やりすすめたのか？それは、私が将来教員になりたいと言ったからです。そのための経験を積む必要があると考えた顧問は、部活動の部長や生徒会総務に立候補させたのです。もちろん、断れません。

10年後、私は数学の教員として、3年生の担任をしていました。あれほど、しゃべるのが苦手だったのに、生徒達の前で授業を行ったり、保護者の方々と話せるようになっていました。全くの別人ですね。

つまり、今の自分と10年後の自分では、全くの別人になっている。なれるということです。

それも、意識しだいで、なりたい自分になれる可能性があります。

そのための土台は、「自律」です。

自分で考え、判断し、決定し、行動すること。これが自律です。

そのためには、試行錯誤して自分の考えや感情を知りながら、選択肢を考えて、自分で選択するという作業（自己決定）が必要となります。難しい言葉を並べましたが、簡単に言えば「悩み」があれば、自分で考え、選択する物を決め、その中から選んで、行動していく。その繰り返しです。途中、失敗することはあっても、繰り返すことが大切だと思います。

「考える。動く。自由になる。」著：工藤勇一 より引用

具体的な例（この時期の3年生の場合）

将来のなりたい職業等が決まっていなくても、中学校卒業後の進路選択及び決定をしなければなりません。そのために、7月から8月にかけて、行うことは何か？

それは、情報収集です。

中学卒業後、高等学校進学を決めた。では、どの高等学校を選ぶのか？学力・通学時間・校風・施設面・学費・進学（就職）実績・部活動・その他、様々な視点を持って調べる必要があります。あらゆる選択肢（A高・B高・C高・D高）から選び（決定し）、受験して合格する。

その情報収集のために、学校説明会・体験入学等にある程度の数を選んで体験しましょう。

県立（公立）・私立の高等学校のほとんどが7月から8月にかけて実施しています。夏休みという期間だからこそ、時間にゆとりがあり、計画的に体験入学（説明会）に参加できるはずです。ちなみに、2学期も説明会等実施する学校はありますが、時間的なゆとりはないと思われます。

ぜひ、少なくとも公立高等学校・私立高等学校あわせて、3校から4校程度は、申込を行い実際に目でみてください。

なお、1、2年生を受け入れている高等学校もあります。1、2年生も興味のある学校に参加しましょう。早めの準備は大切です。

保護者の皆様も、お子様がどの学校の体験入学や説明会を申し込んだか、ぜひご確認をお願いいたします。お子様がまだ、1校も申し込んでいない場合は、進路選択の時期が遅くなり、苦勞する場面が多くなります。ご協力のほど、お願いいたします。

